

『「親の学習」プログラム集増補版』の発刊に当たって

埼玉県では、家庭の教育力の向上を図るため、平成19年度に『「親の学習」プログラム集』を作成いたしました。このプログラムには、子育て中の親等を対象として子育てに必要な知識やスキルを学ぶことができる「親が親として育ち、力をつけるための学習」と、近い将来親になる中学生・高校生を対象として子育て等の理解を図る「親になるための学習」がございます。

現在、この「親の学習」プログラム集を積極的に活用し、就学時健康診断や入学説明会、家庭教育学級や学級懇談会などの機会に、子育て中の親を対象にした「親の学習」講座を実施していただいております。講座の実施回数は年々増加しており、平成23年度の実施回数は923回を数え、44,000人を上回る多くの皆様に受講していただきました。

また県では、地域の子育て活動の支援者であり、「親の学習」の指導者でもある「埼玉県家庭教育アドバイザー」を養成しており、平成25年3月現在、903名の方が登録されています。家庭教育アドバイザーの方には、市町村とも連携を図りながら様々な活動をしていただいております。

このように、多くの皆様の御理解と御協力の下、「親の学習」講座は県内各地において普及してまいりましたが、現行プログラム集の作成から5年が経過し、社会の変化にともない、中学校生生活への不応や携帯電話によるトラブルなど子供たちを取り巻く問題が多様化してきており、また、家庭教育アドバイザーの方からも現行プログラム集に対する改善の要望をいただきました。

そこで、子供にとっての携帯電話や孫育ての関わり方など、より現在のニーズに合った14のプログラムを新たに作成し、『「親の学習」プログラム集増補版』を刊行することといたしました。この増補版には、現行プログラム集のデータを最新のものに更新した資料も掲載し、これまでのプログラム集も継続して活用できるようにしております。

今後とも、現行『「親の学習」プログラム集』と、この増補版を活用して、さらに多くの皆様に「親の学習」講座に御参加いただくことで、子育てに悩み孤立しがちな親をなくし、地域ぐるみで子育てができる社会づくりに貢献していきたいと考えておりますので、御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、『「親の学習」プログラム集増補版』の作成に当たり、御尽力いただきました「親の学習」プログラム集改訂委員会委員長の首藤敏元先生、「親の学習」プログラム集改訂ワーキンググループ座長の吉川はる奈先生をはじめ各委員の皆様並びに関係各位に深く感謝申し上げます。

平成25年3月

埼玉県教育委員会教育長 前島 富雄